



## 精子・卵子の構造、受精過程は ヒトと動物で大きく異なる

(構造の違いの例とその臨床的意義)

1. ウシ精子核タンパク・プロタミンは1種、ヒトは2種  
(ヒトでは2種のプロタミンの構成比が不妊に関係)
2. マウス精子の先体は大、ヒトのそれは小  
(マウスでは先体内酵素がICSI後受精卵発生に悪影響)
3. マウス卵とヒト卵の細胞膜構築の違い  
(マウスでは顕微授精が難しい；卵子が壊れやすい)

(受精過程の相違とその臨床的意義)

1. マウス卵子の多精子受精拒否は透明帯、ヒトでは細胞膜  
(ヒトでは囲卵腔に複数精子をいれても多精子受精は起きない)
2. マウス受精卵の中心体は卵子由来、ヒトでは精子由来  
(マウスでは有効な乾燥精子が、ヒトでは妊孕性を持たない)